

あいち農産物生産流通レポート

平成19年7月号

情報サロン		
・平成19年度愛知県食品表示ウォッチャー研修会・依頼式 を開催しました。	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・第40回愛知県山村花き品評会「花と緑のときめきフェスティバル」を開催します。	(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・都道府県認証による農産物ブランド化戦略の取り組み	(東京事務所)	3
西日本情報		
・「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」を開催 しました!	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・「ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007」 について	(園芸農産課)	7
青 果		8
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し		
花 き		21
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)		
輸出入		25
・主要農産物の輸出入実績(2007年4月)		
・		26
関連指数		

本書の内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所総務課物産情報グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

平成19年度愛知県食品表示ウォッチャー研修会・依頼式を開催しました

愛知県は、平成15年度から食品表示の適正化を図るため、消費者の方々に日常の買い物行動の中で、食品の表示状況をモニタリングしていただく食品表示ウォッチャー制度を実施しています。毎年、ウォッチャーから1,000件を超える食品表示に関する報告をいただいております。昨年度は、この報告をもとに、約250店舗に対して調査・指導等を実施しました。

本年度も、県内全域から一般公募で選出された118名と市町村から推薦を受けた32名の計150名の方にウォッチャーを依頼することとし、5月28日(月)の東三河会場(愛知県東三河総合庁舎)を皮切りに、名古屋会場(愛知県自治センター)、西三河会場(愛知県西三河総合庁舎)の県内3ヶ所で研修会と依頼式を開催しました。

研修会では、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律(JAS法)や食品衛生法に基づく食品表示制度について学んでいただき、食品の表示に関する理解を深めていただきました。

今後、ウォッチャーとなられた方には、県内の小売店などで、生鮮食品の原産地表示や、加工食品の原材料名、賞味期限などが適正に表示されているかなどをモニタリングしていただき、モニタリング結果を年4回県に定期的に報告していただくとともに、不適正な表示事例を見つけたり、情報を入手した場合にはすみやかに情報提供していただくことになっています。

食品表示は、消費者の方々が食品を購入する際の唯一の拠り所であり、その偽装や誤りがあるてはならないことです。



研修会



依頼式

今後も、県民の方々との連携を図りながら、食品表示の適正化を進め、食の安全と信頼の確保に引き続き努めていきます。

花と緑 - 第40回愛知県山村花き品評会 -のときめきフェスティバルを開催します。

三河山間地域の夏季の冷涼な気候を活かして生産される花（切花・枝物・鉢物）の栽培技術の向上と消費PRを目的として、愛知県と三河山間地域の5市町村、関係団体等で構成する愛知県山村花き品評会実行委員会は、毎年、この地域の市町を持ち回り会場として、7月下旬から8月上旬に「愛知県山村花き品評会」（副題：花と緑のときめきフェスティバル）を開催しています。

第40回を迎える今回は、平成19年7月25日（水）に設楽町立田口小学校で開催します。当日の一般公開には、多くの方々に楽しんでいただけるよう多彩な催しも企画していますので、是非、ご来場ください。

日 時

一般公開 平成19年7月25日（水） 午前10時から午後2時30分まで
出品物即売 同 日 午後2時45分から（なくなり次第終了）

場 所

設楽町立田口小学校（入場無料）
北設楽郡設楽町田口字白根土1 - 1

付帯行事（付帯行事の開催時間は一般公開時間内です。）

- 草木染め体験先着100名（無料）
- スタンプラリー
- 地域農産物等の展示・販売
（出展者：JA愛知東、アグリステーションなぐら、県淡水養殖漁協 など）
- まゆ花の展示・販売（出展者：東栄まゆ花会）
- 野菜アート展示
- チェーンソーアート展示・販売
（出展者：マスターズ・オブ・ザ・チェーンソー東栄）
- 最新型起震車「なまず号」地震体験 など
（予告なしに変更する場合があります。）

お問い合わせ先

第40回愛知県山村花き品評会実行委員会事務局
（愛知県新城設楽農林水産事務所農政課内）
電話（0536）62 - 0545



昨年の品評会の様子

都道府県認証による農産物ブランド化戦略の取り組み

大田市場などで都道府県の知事が農産物のトップセールスをする時、「～県ブランドをよろしくお願いします」と強調することがあります。

全国の都道府県において農産物のブランド化に向けた取り組みが行われ、その一環として各県独自に様々なブランド認証制度を創設しています。

認証制度には、糖度保証など一定の品質（山形県、山梨県、宮崎県）や、国の指定産地や特産品で一定の産地規模のもの（群馬県）、産地が申請すれば認められるもの（神奈川県）など様々な認証基準がありますが、今回は、特徴的な取り組みを紹介します。

1 各県の取り組み

(1) 埼玉県

- ・ 特徴

インターネットを活用し、まず、県産農産物に対する県民の理解を深め、首都圏へ向けて情報発信することによる県民主役のブランド化を目指している。

- ・ 認証候補数：34品目（米1、野菜12、果実5、花・植木8、畜産物2、水産2、農産物加工品2、その他2）

- ・ 認証候補基準

生産量の全国順位の高いもの

地域特産物

希少性の高いもの

- ・ 推進事項

消費者から評価・選択される農産物づくり

埼玉ならではの特徴ある農産物の創出

販路を確保した農産物の生産拡大

(2) 山形県（山形セレクション）

- ・ 特徴

農産物だけでなく、広く铸物などの地場産業型工業分野、観光関連サービス分野を加えた総合的な認証制度である。

- ・ 認証数（農林水産物）：12品目（米1、野菜1、果実8、花（切枝）1、農産物加工品1）

- ・ 認証基準
 - 以下の「山形基準」に適合していること
 - 高い品質
 - 安全性・安心感への配慮
 - 山形の自然、歴史・文化の検証
 - 山形の技術・技法の伝承
 - 環境への配慮
- * 認証にかかる審査を、民間企業の代表者、学識者などで構成する「山形セレクション会議」に付託



山形ブランドをアピールする知事

(3) その他の特徴的な認証制度

- ・ 認証農産物PRのための消費者モニタリング制度（香川県）
- ・ 収穫期間中に農産物へ農薬残留試験の義務づけ（宮崎県）
- ・ エコファーマーが認証条件（山梨県）

(4) 農産物のブランド認証に対する果物専門店の評価

- ・ 店名自体がブランドとなっている店舗は、県の認証を必ずしも必要としていない。
- ・ 認証農産物は絶対量が少ない場合が多く、常時安定的に店頭へ並べることは困難である。また、認証品と非認証品を併売すると、非認証品が粗悪品と客に思われてしまう。認証品はギフト仕向けとしたほうがよいのではないか。
- ・ 認証マークは、お客に安心感を与える一つの目安となることから、販売員が自信を持ってお客にセールスできる。
- ・ 各県とも、量販店のバイヤーや果物専門店の仕入れ担当者を対象としたブランド（特徴、こだわり）説明会以降のアフターフォローをしていない。

2 まとめ

認証した農産物については、消費宣伝を積極的に行ったり、パンフレットやホームページで消費者へアピールするなど、どの県も共通して行っている。

一方、各県の認証制度の差異が消費者に分かりにくい面があることから、独自性を伝える必要がある。



みやざきブランドを全面に出し消費宣伝する宮崎県知事（大田市場）

「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」を開催しました！

平成19年6月7日に名古屋市東区の愛知芸術文化センターで、「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」を開催しました。当日は、一般参加者を含め、県・市町村や関係団体から2,000人を超える方たちに参加していただきました。

大会は、県民が一緒になって食育の推進に取り組んでいこうという機運を高めることを目的に開催したもので、食育標語の優秀作品の表彰、食育推進にかかる大会アピール、食育実践事例の発表、記念講演などを行いました。

内容の一部について御紹介します。

食育標語の優秀作品の表彰

優秀作品と作者は以下のとおりです。大会では、標語の周知のため、これらの食育標語の入ったPR資料を参加者に配付しました。今後は、これらの標語を使って食育の啓発を行っていきます。



知事賞（子どもの部）受賞の澤田さん

食育標語優秀作品一覧

【子どもの部】

区分	標語作品・氏名・学校名
愛知県知事賞	朝ごはん 毎日食べて 元気な子 澤田 有里紗 犬山市立城東小学校
愛知県議会議長賞	「おいしいね」 みんなで食べれば ほら笑顔 安田 遥 清須市立清洲中学校
愛知県教育委員会賞	いただきます 感謝の気持ち 忘れずに 早川 諒 安城市立桜井中学校

【一般の部】

区分	標語作品・氏名・所在地
愛知県知事賞	健康と 豊かな心 食にあり 近藤 美和子 名古屋市千種区
愛知県議会議長賞	豊かなる あいちの恵み 食卓で 櫻井 智子 西春日井郡春日町
愛知県教育委員会賞	食育で いきいきライフ エコライフ 野寄 則彦 安城市

大会アピール

これからの家庭や社会を担っていく若い世代を象徴して3人の女性が力強くアピールを行い、満場の拍手により採択されました。

大会のアピール

- 1 食の大切さを知り、食についての理解を深めよう
- 1 体、心、環境を大切にす健全な食生活を実践しよう
- 1 子どもや周りの人に食の大切さを伝えよう



大会アピールを提案する名古屋女子大学の竹井さん、中村さん、矢埜さん（右から）

食育実践事例の発表

食育を実践している方たちが事例発表を行いました。普段の取組が紹介されたことは、会場の参加者にとって、食育に取り組む者同士が今後お互いに連携・協力を深めていくきっかけとなりました。

食育実践事例発表団体

- ・ 愛知県健康づくり食生活改善協議会
- ・ 一宮市立丹陽南小学校
- ・ JA あいち豊田女性部三好支部
- ・ ユニー株式会社



食育実践事例を発表するユニー株式会社の小池さん

記念講演

女優・エッセイストの星野知子さんによる記念講演「スローフード・スローライフで食を楽しみましょう」が行われました。



星野知子さん

なお、大会の概要は以上ですが、これに先だって、5月30日に「愛知県食育推進会議」が開催されました。

同会議では「あいち食育いきいきプラン」に基づき、毎月19日を「おうちでごはんの日」と決定しました。

「おうちでごはんの日」には、仕事などを早めに切り上げ、家族揃って食事をするように努めましょう。

「ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007」について

平成19年6月1日（金）から3日（日）まで、さいたまスーパーアリーナ（埼玉県さいたま市）にて「ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007」が開催されましたので御紹介します。

1 フェスティバルの概要

このフェスティバルは、平成2年に大阪府で開催された「国際花と緑の博覧会」の基本理念である「自然と人間との共生」の継承・発展を目的に毎年開催されている、国内最大級の花のイベントです。

今回は、各地から出展されたフラワーディスプレイによる「全国花自慢」、1万本のゆりを使った展示や植木をふんだんに使った庭の展示、愛好家による盆栽展やいけばな展が開催されました。

また、全国の優秀な花が集まる全国花き品評会が同時に開催されました。

2 出展の概要

ジャパンフラワーフェスティバル出展愛知実行委員会（構成員：愛知県・愛知県経済産業協同組合連合会・愛知県花き温室園芸組合連合会）は、コンテストフラワーディスプレイ部門に出展しました。

出展のテーマを、「花の王国あいち～愛を込めた贈物～」とし、愛知県内の生産者が丹精込めて育てた花をふんだんに使い、花の贈物をイメージしたディスプレイにしました。

また、愛知県が開発した、きくのオリジナル品種「白粹」とカーネーション「ドリーミーピンク」に加え、県内生産者が育成した品種も花材に取り入れ、日本一を誇る愛知の花をPRしました。



出展ディスプレイ

3 全国花き品評会結果

フェスティバルと同時に開催された品評会には、全国から選りすぐりの花が764点出品され、うち愛知県からは131点の出品がありました。受賞結果は、金賞10点、銀賞20点、銅賞23点でした。農政局長賞以上の特別賞は下記のとおりです。

農林水産大臣賞	スプレーギク「タンガピンク」	原 和弘
農林水産省生産局長賞	輪ぎく「精興の誠」	渡会 康之
	スプレーギク「セイレミダス」	杉本 守
	カーネーション「シフォン」	三矢 弘樹
東海農政局長賞	輪ぎく「神馬」	杉浦 信義
	スプレーギク「セイチャチャ」	山内 治
近畿農政局長賞	鉢物 ブーゲンビレア	加藤與志和

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名 古 屋 市 中 央 卸 売 市 場 (品 目 : い ち じ く)

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
18年実績	51	51 (100%)	1,003	1,003	愛知 (100%)
19年見通し	60	60	1,000	1,000	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>梅雨入りが遅れ、好天・高温の日が続いたため、秀品率が高く、着色がよいものの小玉傾向である。油の高騰によりハウス栽培の作付面積が減少しているが、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。 生育良好のため、上位品は前年の価格を下回るが、下位品は品薄となり、全体としては前年並みの価格となる。</p>			<p>収益率の高い品種であり、全国的には露地ものの作付けが増加している。生産高日本一の愛知も作付を減少させないでほしい。 鉄分・食物繊維を豊富に含み、健康食品としての需要が多いことから、品質にこだわる消費者が多い。青切りで味のないものは出荷せず、適熟した甘みのあるものの出荷を心がけてほしい。</p>		

東 京 都 中 央 卸 売 市 場 (品 目 : と う が ん)

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
18年実績	736	247 (34%)	133	171	愛知 (34%) 神奈川 (28%) 静岡 (15%)
19年見通し	800	-	120	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>沖縄産が終了し、5月下旬から始まった愛知産のほか、神奈川、静岡などの関東産が中心の入荷となる。 天候も悪くなく、各産地とも生育は良好であるため、順調な入荷が見込まれる。 全体の入荷量は、少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>とうがんは本県の夏野菜を代表する作物の一つであり、平成18年度の入荷量は全国1位である。業務需要の割合が高いが、一般家庭での需要を拡大するため、低カロリーであることや料理方法などのPRが必要。 出荷時における若採りと表皮の粗毛除去を励行し、形や色を揃えるなど、高品質の保持に努めて欲しい。</p>		

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
		全 国 平成17年 = 100 愛知県 平成17年 = 100				
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年 1月	100.0	104.2	114.7	102.3	103.8
	2月	99.5	95.7	109.9	101.9	102.5
	3月	99.8	98.9	108.2	102.2	104.2
	4月	100.1	104.7	98.2	102.1	105.5
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年 1月	100.2	101.1	116.0	99.8	104.6
	2月	99.7	90.9	114.3	98.7	102.7
	3月	100.2	94.8	111.8	98.9	105.6
	4月	100.4	99.4	104.5	98.7	106.9

項目 年月		農業物価指数 (平成12年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	17年平均	99.7	91.9	104.7	90.7	109.3
	18年平均	102.3	90.8	112.7	106.1	108.5
	19年 1月	104.2	89.2	104.4	140.4	105.6
	2月	100.2	90.7	92.9	125.4	107.6
	3月	104.3	90.9	105.4	111.3	108.9
4月	103.4	90.9	104.6	121.7	107.0	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち	キ	は	ね	レ	ば	だ	に	た	き	ト	生	り
	米 (単一品種、 「コシカ 」以外)	ャ ベ ツ	く さ い	ね ぎ	タ ス	れ い し よ	い こ ん	ん じ ん	ま ね ぎ	ゅう り	マ ト	しい た け	ん(ご ふ じ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年 1月	2,218	111	107	534	519	266	111	280	209	812	556	257	478
2月	2,218	97	105	460	469	269	98	255	214	584	624	185	494
3月	2,226	108	152	466	465	275	110	241	216	495	713	187	514
4月	2,243	170	185	493	449	273	147	312	220	440	686	191	520
品目 単位 年月	み	グ	オ	い	バ	キ	緑(カ	き	バ	豚(牛(ま
	か ん	レ フ ル プ ツ	レ ン ジ	ち ご	ナ ナ	ウ フ イル ツ	せ 茶 茶)	 ネ シ ヨ ン	く	ラ	肉 ス)	肉 ス)	ぐる
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年 1月	588	341	426	-	247	734	597	161	169	320	223	778	531
2月	654	359	528	182	259	721	586	161	175	322	214	763	521
3月	720	403	549	157	266	649	597	174	175	328	225	754	516
4月	-	353	544	137	280	741	607	161	169	314	217	760	503

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 409
平成19年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417